



きずな

第38回全日本少年サッカー大会 北海道予選 札幌ブロック大会 第33回札幌市スポーツ少年団 サッカー交流大会

SSS が優勝!!

LIV.FC-A・FC DENOVA・篠路FC が全道大会へ

大会序盤は暑すぎるほどの天気で、シーズン最初の大会としては、体力的にも厳しい戦いとなったチームもあったようです。しかし、ベスト16となった17日は激しい雨と風で気温も低く、選手たちにとっては気の毒な環境となりました。当初の予定を変更して実施したため、会場や審判等で多くの方々にご協力をいただきながら、無事に大会を終えることができました。ありがとうございました。

決勝 5月25日(日) SSSグラウンド		
SSS	LIV.FC-A	
4	0-0 4-0	0

穏やかな天気にも恵まれた全日少決勝の舞台。札幌市の頂点を決める戦いは、LIV. FCのキックオフからスタート。開始早々からキーパーのロングキックから裏のスペースをねらうLIV. FC。ゴールをこじ開けようとチャレンジする姿勢が目立つ立ち上がり。一方、SSSは、トップにボールを預け攻撃を組み立てる。ただ、前半は互いのストロングポイントを両者が打ち消し合うかのような硬直状態が続く展開。そんな中、前半4分にLIV. FCがサイドを崩し、㉔がシュートを放つがキーパーの好セーブに阻まれる。SSSも徐々にボールを動かしてゲームをつくるが、LIV. FCの体を張ったディフェンスに決定機をなかなかつくれず、時間ばかりが経過していく。そんな

中、LIV. FCが中盤でボールを拾い、㉓がゴール前に抜け出す。ゴール前までドリブルで迫るも、SSSのDFも対応し、キーパーがまたもや好セーブで失点を免れる。前半17分にはSSSのコーナーが続く。LIV. FCにとっては苦しい時間帯であったが、DFがしっかり体を寄せて粘り強いディフェンスで凌ぐ。その後も両者チャンスをつくるものの、制度に欠き同点のまま前半を終える。勝負の行方は後半へ。

後半からメンバーを替え、勝利への執念を見せるSSS。立ち上がりからLIV. FCのゴールへ迫る。幅を生かし、大きな展開でLIV. FCを揺さぶる。左サイドから大きく右サイドへサイドチェンジ。右サイドを切り崩しそのままセンタリング。中央でSSSの㉑が頭で合わせて先制ゴール。その後もSSSがテンポよくボールを動かし、人が動き、ポゼッションを高めながらシュートで終わる時間帯が続く。後半3分には、SSSの㉑が右サイドから仕掛け、フリーの㉒へラストパス。㉒が冷静にゴールへ流し込み追加点を奪う。しかしながら、LIV. FCも諦めることなくゴールへ迫る。後半10分には、LIV. FCがコーナーキックからチャンスをつくりシュートするが惜しくもキーパーの正面に。なかなか攻め崩せないLIV. FCに対して、勢いに乗るSSSが更なる追加点を上げる。後半12分、SSSの㉑が、最終ラインでDFに競り勝ち、キーパーと1対1に。キーパーの動きを見て、落ち着いてゴールに流し込み追加点。後半14分にはLIV. FCが中央からサイドに展開し、シュートに迫るもゴールはこじ開けられず。迎えた後半18分に、SSS㉑が左サイドを深く切り込み、ペナルティーエリア内でファウルを受けPKを得る。このPKを㉑が右サイドネットにきっちり決める。最後までゴールをねらい続けたLIV. FCであったが、ゴールはこじ開けられず試合終了の笛が。全日本少年サッカー札幌予選はSSSの優勝で幕を下ろした。

準決勝 5月18日(日) SSAP		
FC DENOVA		LIV.FC-A
4	0-3 0-0	3

前線からプレスをかけるDENOVAに対してしっかりパス回しをするLIVの対戦となった準決勝1試合目、序盤はDENOVAが立て続けにシュートを打ち得点を狙うが、得点を奪えず。

試合が動いたのは前半6分LIV12番がシュートを決めLIVが先制!!

その後、前半7分と前半14分にもLIVがゴールを決め前半は3-0で終了。

後半もLIVがDENOVAゴールを襲い追加点を狙うがDENOVAディフェンス陣がしっかり守り追加点がないまま3-0で終了。

LIVが決勝に進出した。



準決勝 5月18日(日) SSAP		
SSS		篠路 FC
4	3-1 1-0	1

しっかりとした技術でパス回しをするSSSに対してサイドから攻撃し崩す篠路の対戦となった準決勝2試合目、序盤からSSSが立て続けにシュートを打ちSSSが攻勢。

前半6分SSSがPKを獲得。これを9番が冷静に決めSSSが先制!!

その後はカウンターから篠路もSSS陣内に攻め込むがSSS守備陣がしっかりブロック。

しかし、SSSが立て続けに右サイドから崩し2点を追加。

篠路も負けずに右サイドから崩しゴールを決める。

後半も前半と同様にSSSが篠路陣地に攻め込み追加点を狙う。

試合も終盤となりSSSが中央から崩し10番がシュートを決めSSS4点目。

このままタイムアップ4-1でSSSが勝利し決勝進出した。

